

国語 第4学年 あなたなら、どう言う 検討会の想定問答

指摘 1: この単元で身に付けることは何か。

返し: 意見の違う相手へ伝える言い方を、目的と理由を確認して考える。丁寧さだけでなく、相手の事情を聞くことも扱う。A(1)オの学習として、場面の目的、双方の言い分、言い方の案、選んだ理由。

指摘 2: 何をもって学習できたと判断するか。

返し: おおむね満足できる状況は、互いの意見の共通点や違いを比べ、目的に合う伝え方について考えをまとめているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3: 活動が楽しいだけで終わらないか。

返し: 場面の目的、双方の言い分、言い方の案、選んだ理由を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)オに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4: つまづく児童にはどんな支援をするか。

返し: 正しい言い方を一つ暗記する、強い言い方で相手を従わせればよいと考える。これに対して、実在の児童のけんかを再現せず、教師の架空場面で目的・言い分を分ける。本人の言い方を責めず、相手の反応を想像して別案を比べる。〔知識及び技能〕(2)アとA(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5: 考えが違ったときはどう扱うか。

返し: 教師の結論を選ばせず、「同じお願いでも、相手の事情を聞いてからならどう言えますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6: 本時の評価で態度まで決められるか。

返し: 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7: 端末がない学級でもできるか。

返し: 場面の目的、双方の言い分、言い方の案、選んだ理由は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8: 時間が足りないとき、どこを残すか。

返し: 総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9: この教材で、誤りやすい点をどう確かめるか。

返し: 正しい言い方を一つ暗記する、強い言い方で相手を従わせればよいと考える。実在の児童のけんかを再現せず、教師の架空場面で目的・言い分を分ける。本人の言い方を責めず、相手の反応を想像して別案を比べる。

指摘 10: 振り返りを感想だけにしないためには。

返し: 「同じお願いでも、相手の事情を聞いてからならどう言えますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

